

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 腹腔鏡下膵尾側切除術と開腹膵尾側切除術の比較検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科

【研究責任者】 坂元克考（肝胆膵乳腺外科 助教）

【研究の目的】

過去に受診された膵尾側切除術を受けた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、腹腔鏡下膵尾側切除術に関して、術中出血量や術後合併症、術後在位日数、周術期の炎症マーカーなどの血液生化学的検査結果の変動を開腹膵尾側切除術と比較して、その低侵襲性を評価することを目的とする研究を行うことといたしました。この研究は膵尾側切除術を受ける患者さんにおける治療成績向上を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2010年2月1日から2020年6月31日までに膵頭十二指腸切除術を施行した患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、術式、手術所見、術後合併症等

【個人情報の取り扱い】

個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327